令和6年　新居跨線橋
今後の方針に関する説明会

令和6年10月30日

湖西市土木課

本日の次第

<交通量調査について>
①背景
②目的
③方法
④目的1：大倉戸茶屋松線開通による効果検証・確認
⑤目的2：今後の道路等整備による影響の予測・検証
　　①新居跨線橋の撤去
　　②大倉戸茶屋松線の延伸
⑥まとめ

<発生する費用について>
・存続させる場合の維持管理費用

<今後の方針について>
・各項目の検討結果

<今後のスケジュールについて>
　今後のスケジュール

<交通量調査について>

交通量調査実施の背景

＜競艇周辺道路・橋梁の今後の管理について＞

過去からの企業団との協議により

①新居跨線橋を撤去する場合 ➡ 競艇周辺の道路・橋梁は企業団が管理（継続）

②新居跨線橋を存続させる場合➡ 競艇周辺の道路・橋梁は湖西市が管理

多額の費用が必要

新居跨線橋を存続させる必要性を確認するため、交通量調査を実施する

道路延長：6,262.1m
橋梁数　：８橋

交通量調査の目的

目的１：令和5年度に開通した大倉戸茶屋松線の効果を検証・確認する。
目的２：今後の道路整備を進めた場合の影響を予測・検証する。
①新居跨線橋の撤去
②大倉戸茶屋松線の延伸

出典：令和3年度　全国道路･街路交通情勢調査

交通量調査の実施方法

- 調査日　　：令和６年2月中旬～3月上旬のうち4日間（平日/休日、競艇開催日/競艇非開催日）
- 調査時間：7：00～19：00（12時間）
- 調査箇所：市内15箇所（うち4箇所では渋滞長調査と信号現示調査も実施）

目的１：大倉戸茶屋松線開通による効果検証・確認（Ｒ３調査との比較）

- 令和３年度の交通量調査の結果と比較
- 国道301号の交通量に減少がみられる
- 浜名ＢＰ・大倉戸茶屋松線開通区間の交通量は増加

＜競艇開催日-平日-朝ピーク時(7:00～8:00)＞

※大倉戸IC入口交差点はR3では調査対象外のため、当時整備のなかった北断面との差分のみ掲載

出典：R3.9.3(金)、R6.20.(火)：競艇開催日 平日　調査結果

目的１：大倉戸茶屋松線開通による効果検証・確認（交差点需要率）

- 交差点需要率の解析
- Ｒ５調査時点で大きな交通混雑は発生していない

大きな交通混雑の発生なし

⇒これまで新居の市街地を通行していた一部の車が、大倉戸茶屋松線へ転換された傾向を確認

目的２：今後の道路等整備による影響の予測

- 今後の道路整備の検証　①新居跨線橋の撤去　②大倉戸茶屋松線の延伸
- 道路整備時の周辺交通量への影響をシミュレーションにより予測

■道路等整備時のネットワーク

R5	大倉戸茶屋松線開通
①	新居跨線橋撤去
②	大倉戸茶屋松線延伸

目的２：今後の道路等整備による影響（①新居跨線橋撤去時）

- **国道301号、競艇周辺市道の交通量増加**
- 新居関交差点：「交差点の容量に対して処理できる交通量の割合」が交差点処理能力の上限に迫る。

■①新居跨線橋撤去時と現在の交通状況の交通量の差（2-1）

※新弁天北・新弁天交差点の交差点需要率は問題が無いため除外

目的２：今後の道路等整備による影響（②大倉戸茶屋松線延伸）

● 浜名BPに交通が転換し、国道301号・競艇周辺の市道の交通量が減少した
　◆ 新居関交差点：混雑が緩和される

今後の整備計画パターン
1 現在(R5)の交通状況
2 新居跨線橋撤去後
3 大倉戸茶屋松線延伸後

■ ②大倉戸茶屋松線延伸時と①新居跨線橋撤去時の交通量の差（３-２）

大倉戸茶屋松線への転換により混雑が緩和跨線橋撤去前と同等

交通量調査まとめ

◆目的1：大倉戸茶屋松線開通による効果検証

- 令和5年9月30日に大倉戸茶屋松線を開通
- 国道301号の交通量に減少がみられる
- 浜名ＢＰ・大倉戸茶屋松線開通区間の交通量増加
- 現時点で大きな交通混雑は発生していない

大倉戸茶屋松線の開通により
国道301号の交通量が減少
大きな交通混雑は発生なし

◆目的2：今後の道路等整備による影響の予測

①新居跨線橋撤去時

- 国道301号、競艇周辺市道の交通量が増加

◆新居関交差点：交通量が増加

・国道301号の交通量は増加するも「交差点需要率」は上限である0.9は上回らない。

②大倉戸茶屋松線の延伸

- 大倉戸茶屋松線や浜名ＢＰに交通が転換し、国道301号や競艇周辺の市道の交通量が減少

◆新居関交差点：混雑が緩和

新居跨線橋の撤去により交通量は増加するが
大倉戸茶屋松線延伸区間の整備により
交通量は現時点と同程度に戻る

<発生する費用について>

新居跨線橋を存続させる場合の維持管理費用

競艇周辺道路・橋梁の今後の管理について
①新居跨線橋を撤去する場合➡　競艇周辺の道路・橋梁は企業団が管理（継続）
②新居跨線橋を存続する場合➡　競艇周辺の道路・橋梁は湖西市が管理（**多額の費用が発生**）

新居跨線橋を存続させる場合の費用

耐震補強費等：**30億円(R7～R16)**
維持修繕費　：**3,700万円（年間）**
→市予算の１／６
※R6湖西市土木課年間維持管理費 2億3,200万円

<新居跨線橋の今後の方針について>

○比較評価の結果

評価項目	存続		撤去	
交通への影響	**変化なし**	△	①新居跨線橋撤去後 **混雑度が増加（0.9以下）** ②大倉戸茶屋松線整備後 **現在の状況と同等に戻る**	△
経済性	周辺道路・橋梁は湖西市が管理 耐震補強費：３０億 維持修繕費：3，７００万/年 **費用は湖西市が負担** ※将来的な新居跨線橋撤去費用 約50億	×	周辺道路・橋梁は企業団が管理 **費用は企業団が負担** ※新居跨線橋撤去費用 約50億	○
総合評価	×		○	

○：優れる　△：現在の状況と変わらない　×劣る

新居跨線橋は撤去することが合理的

<今後のスケジュールについて>

新居跨線橋今後のスケジュール

年　度	内　容	備　考
令和６年 （2024年）	撤去工事計画作成、関係機関協議	関係機関 (県、市、警察他)
令和７年 （2025年）	※令和8年3月(予定)通行止め	
令和８年 （2026年）		
令和９年 （2027年）		
令和10年 （2028年）	JR部分および国道部撤去工事 ※詳細工程については計画作成中	
令和11年 （2029年）		
令和12年 （2030年）		
令和13年 （2031年）	跨線橋下部新設道路工事	

※６、７年度に撤去順序等施工計画作成および警察他関係機関と協議予定

跨線橋下部新設道路について

以上で説明は終了となります。
ありがとうございました。